

衛生試験法 適合*

* 衛生試験法・注解 2020年版 2.3.3 殺菌料
1) 過酸化水素 2) 酸素電極法による定量

過酸化水素計 HYPA M-7

比色分析法より
短時間高精度



液体
食品

約

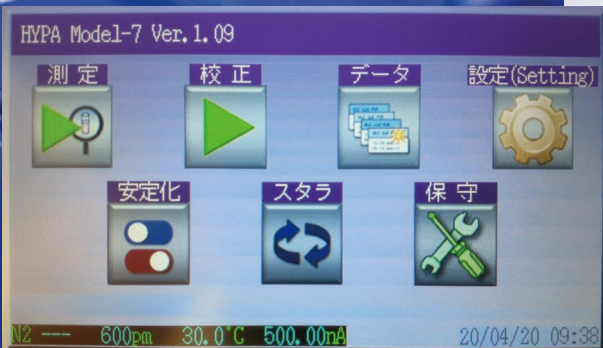
10分

固体
食品

約

20分

(前処理含む)



- ▶ 食品中、容器洗浄後の過酸化水素の残留チェック
- ▶ パック包装の衛生管理
- ▶ 食品中のカタラーゼの残留チェック (かすのこ、生乳など)



セントラル科学株式会社

過酸化水素計 HYPA M-7

特長

- ▶微量の過酸化水素を高精度に測定できます。
- ▶試料の前処理が簡単(牛乳などは前処理不要)で、かつ濁り、着色の影響を受けません。
- ▶過酸化水素を選択的に測定できます。

従来モデルからの改良ポイント

- ▶恒温プレート搭載で恒温水槽設備なしで測定可能
- ▶電極の隔膜交換が容易に

測定原理

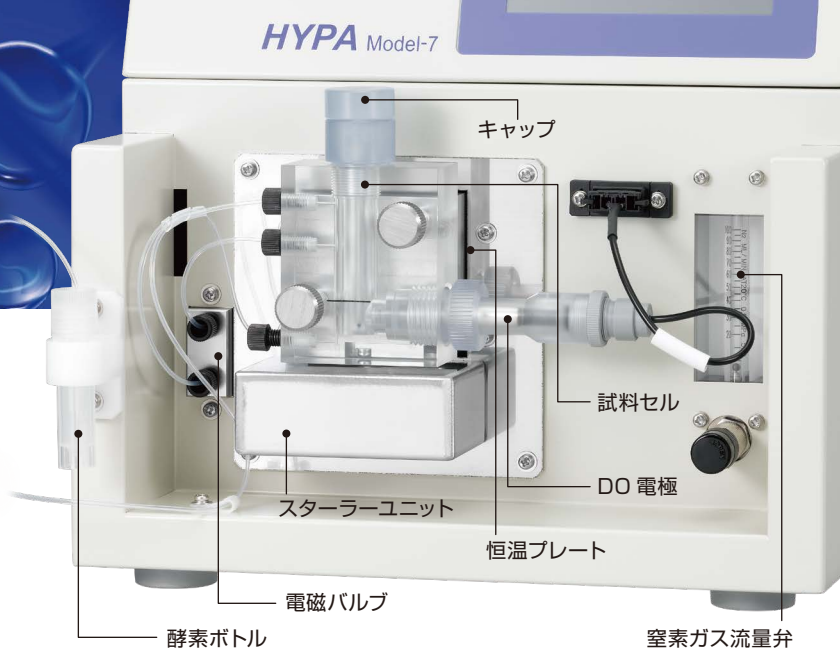
過酸化水素を含む溶液にカタラーゼ(酵素)を添加すると、酸素が生じます。この酸素の増加を酸素電極で検知します。既知濃度の過酸化水素溶液の応答値と比較することにより濃度を算出します。予め試料に窒素を吹き込むことで除酸素を行い、その後、カタラーゼを添加して微量の酸素濃度上昇をとらえます。

仕様

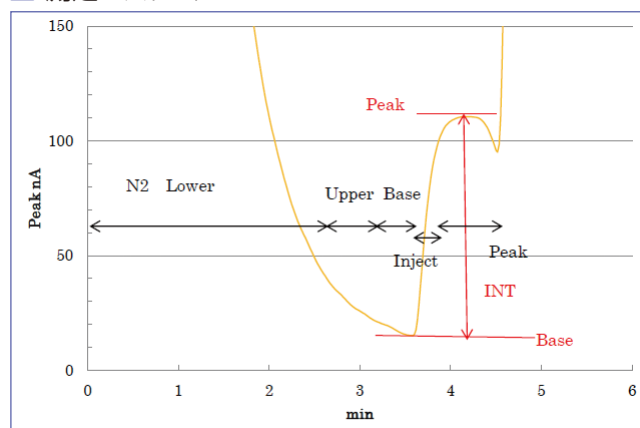
■ 本体

酸素電極	ポーラログラフ式隔膜酸素電極
サンプル量	約2.0mL(標線あり)
検出限界	液体食品:0.01ppm 固体食品:0.02ppm
表示	測定値/グラフ
記録計出力	プリンター出力(オプション)
恒温方式	本体内蔵の恒温プレートによる
電源	ユニバーサル電源対応 100~240V
外形寸法	270(W)×279(H)×370(D)mm
重量	9.5kg

※測定には、純窒素ガス(99.99%)設備が別途必要です。



■ 測定システム



窒素ガスを反応セルに通気し(N2 Lower/Upper)、DO電極の出力が一定レベルまで下がったところで基準電位を求めます(Base)。カタラーゼを注入後(Inject)、生じた酸素を測定し(Peak)、ピーク強度(INT)から過酸化水素の濃度を求めます。



▲標準付属品

▲マイクロシリンジ

商品名	内容	商品コード
過酸化水素計HYPA M-7	本体、DO電極、標準付属品、ファームドチューブ(2/4mm)、ペローズスポイト(2mL)、マイクロシリンジ(50uL)	C00251001
カタラーゼ	容量:50mL	C00255101
Hypa Model 7型用プリンタ	プリンタ(紙幅 58mm)、RS-232Cケーブル(ストレート)、ACアダプタ付 SD3-21SJD-W	C00251101

※記載の製品に関しては、改良のため予告なく仕様変更する場合がありますのでご了承下さい。



セントラル科学株式会社

本社 〒104-0053 東京都中央区晴海2-1-40 晴海プライムスクエア
TEL. 03-3812-0226 FAX. 03-3814-7538

大阪支店 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-6-18 新大阪和幸ビル
TEL. 06-6392-1978 FAX. 06-6392-1971

URL <https://aqua-ckc.jp>

販売店